



SUZUKI・Y 250 改・Yajima special

# 遥かなる青空の彼方に

日本一周 Vol. 11

1978年8月11日～1982年8月17日

遥かなる青空の彼方に 其の拾壹

<http://p.booklog.jp/book/35628>

著者 : lauriercb4004in1

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/lauriercb4004in1/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/35628>

ブックログのpapier本棚へ入れる

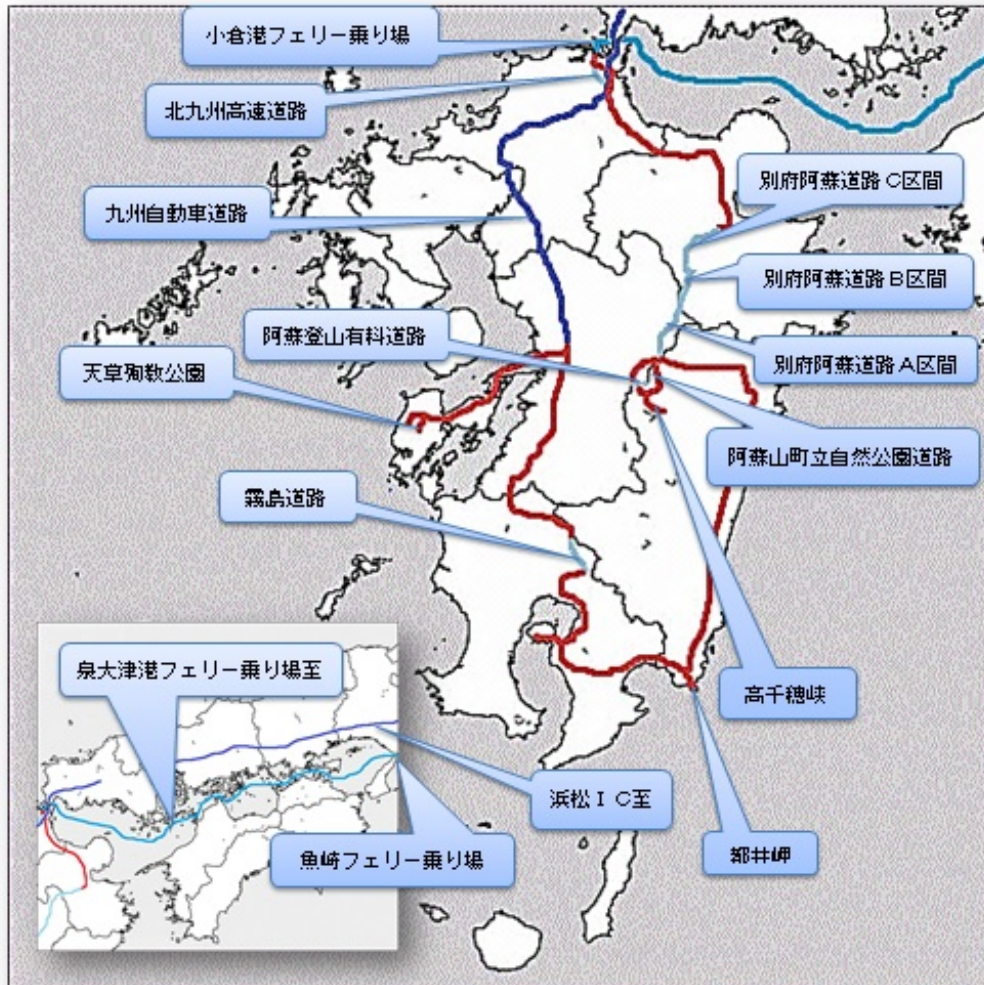
<http://booklog.jp/puboo/book/35628>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

九州 編 (1982年8月11日~17日)

全走行経路



全走行距離 2,063.3km・燃費 26km/ℓ

1982年 8月11日 (水) 晴れのち曇りのち一時雨

AM7:28、起きる。

CBX・400Fは6、800kmを超している、天気は晴れているが西の方は雨が降っている様だ。

日本一周も今回の九州ツーリングで終わる俺でも、やれば出来る！人生での一つの目標を達成が出来る。

好きなオートバイに乗って、行きたい道を選んで行きたい場所にたどり着く。

今回も道の向こうに、何が待っているか楽しみだ！

CBX400・F改は、3日前からドライブ・チェーンが異音、低速で走るとカタン・カタンと音がするが発生する様になった。

普段の通勤と休日の本宮山(ほんぐうさん)の峠攻めで、チェーンに負担が掛かり、それに今年は雨が多くてチェーンに錆が出てしまい、グリス切れで負担が掛かったのかも！チェーンのグリス・アップをして応急処置だけでチェーン交換をしないで出発する。シングル・シートをノーマルに戻して、荷物を取り付ける。

友達2人も九州にツーリングに行くので現地で待ち合わせ！無事に合流が出来れば良いのだが・・・。

いざ！出発、『我が、人生に悔いなし』

AM9:30、出発。

AM9:45、浜松I・Cから東名高速道路に入り、名神高速道路の西宮I・Cを目指す。

AM11:45、休憩と給油の為、養老サービス・エリアに入る、とにかく暑いエンジンがオーバーヒート気味で俺もバテ気味！2時間の休憩を取る休憩をしている間に、オートバイが13台サービス・エリアに入って来た。

体力も回復して再び走り出したが、関ヶ原I・Cを過ぎてから急に雨が降り始めるカッパを着ずに走り、トンネルを抜けた途端に快晴！

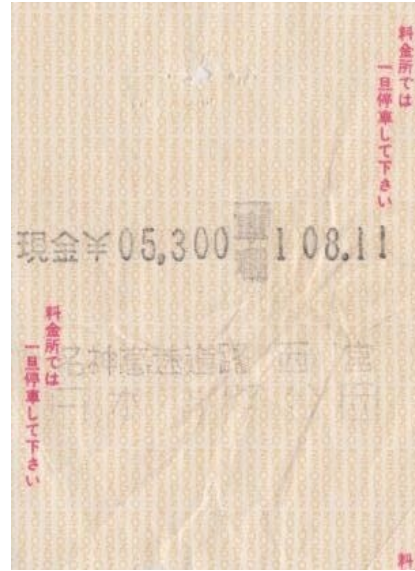
桜井サービス・エリアで付近で上り線、下り線の両方で事故があったので、桜井サービス・エリアで休憩と腹が減ったのでうどんを食べて、渋滞を避けての30分の休憩の間に雨が降り出す。

夏は、カッパを着ると蒸れるから着たくは無いのだが、吹田サービス・エリアまでカッパを着て走る。

途中、男1人女2人のツーリストに会い成り行きで抜きつ抜かつの競争に成ってしま

った。

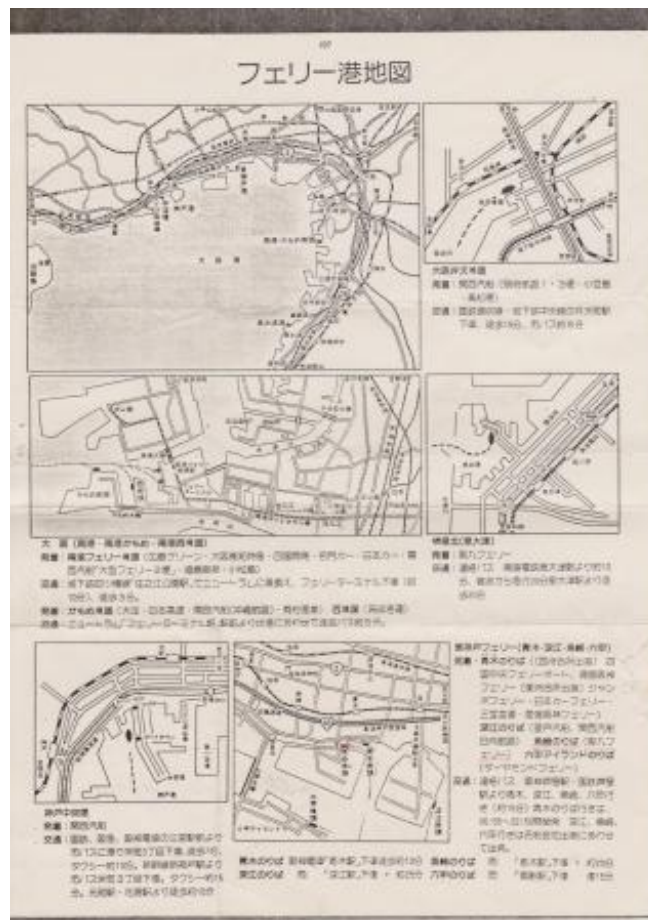
PM3 : 40、西宮 I・C に到着。



(高速道路の領収書)

国道43で芦屋市に向かう途中、CBX・インテグラの人と信号待ちで話をして、そのまま魚崎フェリー・ターミナルまで二人で走りフェリー・ターミナルの入り口で別れる。

PM4 : 20、魚崎フェリー・ターミナルに到着。



(フェリー乗り場の地図)

乗船手続き (¥7,500) を済ませ、オートバイをターミナルの駐車場に移動するとオートバイが10台フェリー・ターミナルの駐車場に停まっていた。



(フェリーの領収書)

乗船まで1時間あるので、売店を物色しに行くとPM4:40発のフェリーに乗る人が大半で一気に人が減る。

食堂で早目の夕食 (ポーツカツ¥500) を食べる、駐車場に戻るとオートバイが俺のを含めて3台しか残っていなかった、しばらくしてオートバイが6台来た。

PM6:40、出港。

さすがに2等、子供は飛び回り親は怒鳴り！子供は泣く！足を延ばせば人に当たる。《

うるさい・・・》

雨と排気ガスと汗で、体がベトベトしているから風呂に入りたいが、この人の数では入るのは難しい、一日くらい風呂や下着を変えなくて大丈夫！後は寝るだけ・・・。

全走行距離 325.4 km・燃費 28 km/l

8月12日（木） 晴れのち曇りのち雨

AM5：30、起きる。

朝食を食べようと思い食堂に行くが、家族連れの人達で混雑して座る場所も無い、バイキング形式で家族連れは皿イッパイに食べ物を載せて、本当に全部食べれるのかと思うくらいのテンコ盛り！呆れてしまう・・・。

混雑をさけて朝食は、売店でサンドイッチと缶コーヒーで済ます。

AM7：30、フェリーは関門橋の下を通る。

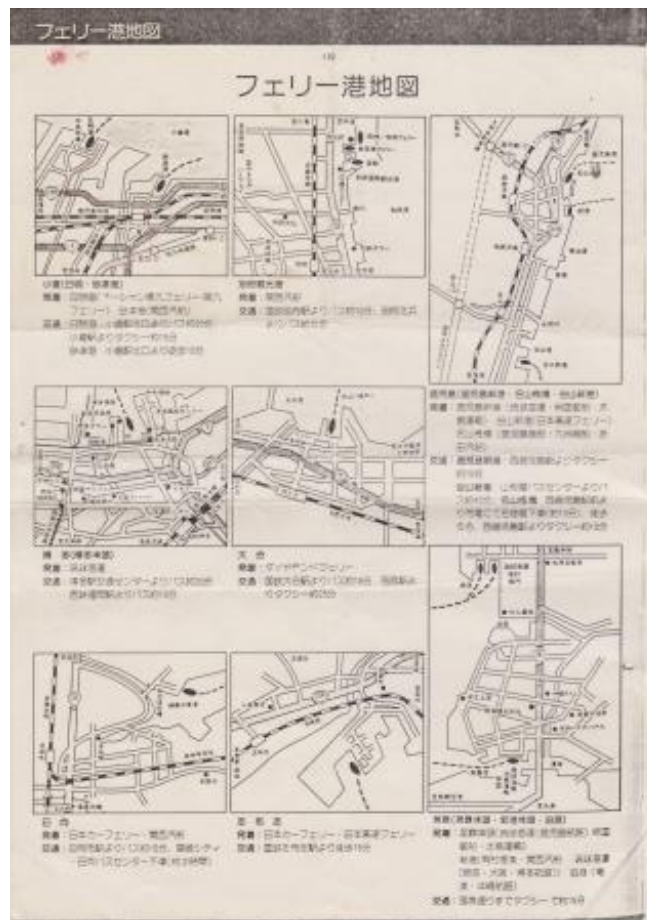


（船上からの関門海峡）

甲板から20mは、離れているのに橋はデカイ！去年の事を思い出し、去年の5月は下関でこの橋を岸から見ていたなあ・・・。

AM8：10、[小倉港フェリー・ターミナル](#)に到着。

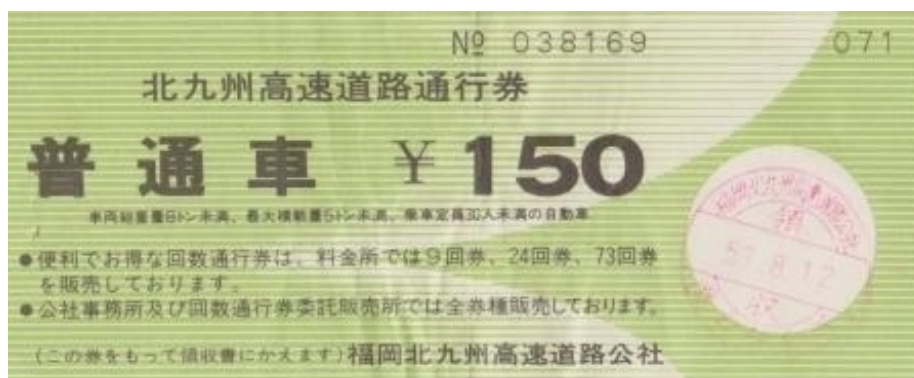




(フェリーターミナルの地図)

フェリー・ターミナルをあとにして、今日は友達2人とPM4:00頃に待ち合わせの天草市の松島まで走る。

北九州高速道路(都市高速1号¥150)を走り、そのまま九州自動車道路に乗るが、思っていたよりは交通量が多い。



(高速道路の領収書)

AM9:40、八女サービス・エリアで休憩をしていると自動車で小林市まで帰るとい、おじさんが話し掛けてくる。

適当に話を合わせて時間つぶしで30分くらい話に付き合う。

小雨が降って来たが、カッパを着る程では無いのでカッパを着なしに出発する、走り出

すと自動車が少なくなり、対向車も無い・・・。

AM10:45、松橋I・Cで九州自動車道を降りる。



(高速道路の領収書)

国道3で宇土市を目指すが、道に迷って給油のついでにガソリン・スタンドのネエちゃんに道を教えてもらう。

国道3から国道266で本渡市を目指す、地元の方は凄い安全運転で制限速度以下で走り、道が空いていてもスピードを出さない。

ここでは、浜松と運転感覚が多少違うので気を付けないと！お陰で本渡市に着くのが1時間遅れてしまった、国道324で殉教公園に向かう。

PM1:20、殉教公園に到着。

天草四郎の本戸城が在ったとされる場所で、白い策の中に天草四郎像と記念館がある、無料だったので中に入って見学！



(殉教公園)

あまりの暑さで、記念館の横に在った水道で頭から水を掛けて冷やす。

この後、大江天主堂にも行こうと思っていたが友達との待ち合わせ時間が迫っていたので、諦めて待ち合わせの松島展望台へと国道324を戻る。

松島展望台にはPM3:20に到着、待ち合わせはPM4:00展望台にはライダーが5人いて、その内の2人と話をしたり写真を撮ったりして時間をつぶす。



(天草観光看板で現在地を確認)

着いてから40分立ったが友達2人は来ない、また雨が、パラパラ降って来た。

PM4:02『早く移動しないと日が暮れるよ!』と売店のおばちゃんが声を掛けて来る。

しばらく、おばちゃんと話をしてついでに食い物を買う。

天草五橋まで戻れば、途中ですれ違おうと思い走り出す、友達2人と会えなければ今夜は野宿になる、二人を捜しに天草五橋まで戻り、ついでに写真を撮る。





(天草五橋)

少し待ったが来ないので、再び松島展望台まで戻る。

売店のおばちゃんが『まだ来ないの?』と心配してまた声を掛けてくれた。

駐車場の観光客は俺一人、おばちゃんは売店を閉めて俺に声を掛けて帰って行った・・・。



(売店も営業が終わり残っているのは俺一人)

今夜の宿は、浜松短大学の友達のTさん家に泊まるS君だけがTさんの家を知っているから待つしかない。

M6:00過ぎ、ようやくS君とA君の2人が来る2時間30分待った。

【遅れた理由を聞けば、A君が長崎で自動車と接触して右側のバック・ミラーを壊してしまったから、オートバイ屋を探していて合うバック・ミラーを探していて遅れた】との事、天草五橋と松島展望台を2往復してしまった、まあ! 2人が無事で成りより

ホンダ・CXユーロ改



(2時間30分、待って三人が揃った)

しばらくして、3人で雑談をしてS君の誘導でTさん家を目指して3人で走りだす。  
PM7:30、Tさん家に到着、二日ぶりのお風呂、二日分の排気ガスと汗を流せる  
! 夕ご飯は御馳走!

全走行距離 356 km・燃費 25 km/l

8月13日 (金) 晴れのち一時雨

AM6:45、起きる。

A君は、ツーリング途中でエンジンOIL交換に成るの見込んで、浜松からエンジンOIL缶を積んで走って来た。

エンジンOILの交換を手伝いながら『交換時期が早くてもツーリングに出る前に、エンジンOILを交換してこればいいのに!』と思う。

交換を終え朝食を食べて、Tさん家の前で記念写真を撮ってAM8:30、出発。

Tさん家をあとにして、国道324に出てS君とA君が殉教公園を見に行くと言うので、道案内をして公園の入り口で2人と別れる。

霧島を目指して昨日、走った国道324を戻り宇土市を目指す、途中で道に迷う『あ〜あ!朝から道に迷うと今日、一日は付いていない前兆だ!』

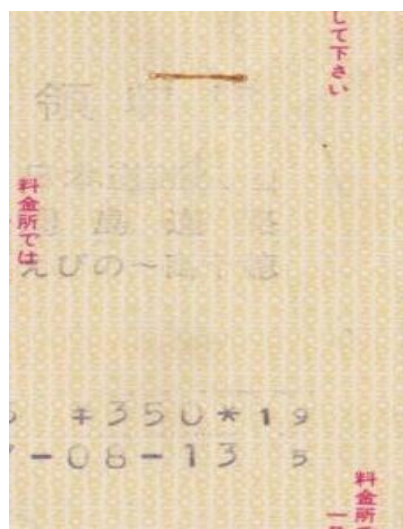
少し戻って国道260の看板を見つけ、国道260・国道57で宇土市に向い国道3で八代市に入る、そこから国道219を走り快適に走っていたが途中から、先日の台風10号で道路が崩れて片側通行に成っていて渋滞が始まる。

道路規制の場所が2ヶ所で、自動車の列が永延と続いている5km走るのに2時間も掛った。

国道219の片側規制を過ぎて人吉市に入り国道221で、えびの市に向かう途中で、山2つを利用したループ橋を走る(とにかくデカイ)。

えびの市に着いたのがPM1:30過ぎ、遅い昼食を取り休憩、木陰にオートバイを停める暑い〜い!

県道30から霧島道路(えびの〜高千穂¥350)を走り国立公園霧島に向かう道で雨が降り始めカッパを着る。



(有利道路の領収書)



(草むらの中に隠れていた)



(霧島神宮)

国立公園霧島内の道路を走り新床展望台に着く頃には雨も上がった。

展望台でDT250と会い少し話をするとDT250は今夜、泊まる所を決めて無いと言うので俺が泊まる霧島公園ユース・ホステルを教える、後で気が付いたのだが、このDT250はセコクで調子のいい男だ！

PM5:08、霧島公園ユース・ホステルに到着。

三角屋根の雰囲気の良いユース・ホステルで、建物は今年の夏の北海道ツーリングの塩狩ユース・ホステルに似ている、横には蒸気機関車SLが置いてある、ユース・ホステルの人に聞いたら蒸気機関車SLは8年くらい前から置いてあるそうだ。

自転車、オートバイが多く、家族連れ3組(子供が7人)で泊まっている、ここの風呂は温泉いい湯だった、鏡で自分の姿を映せば、ずいぶん日焼けをしている。

調子のいいDT250は、早速に本領発揮でユース・ホステルに泊まっているオートバイの人達を引き連れて、観光見物に出かけた、あの男に関わらない方がいい！

天気予報では、台風12号の影響で宮崎県は大雨だと言っている今後は、予定変更を考えないといけないかも？！

全走行距離 236.4 km・燃費 25 km/l



8月14日（土） 晴れ

AM6：00、起きる。

この時間で、この暑さ今日も暑くなりそうだ！

AM7：45、霧島公園ユース・ホテルをあとにして、県道60で海を目指して走り、国道10に出てたら桜島が目の前に現れる、噴煙！初めて見る活火山！山が生きている感動！

国道10から国道220を走り景色のいい場所で写真を撮る、桜島は凄い！また感動してしまう。



（桜島）

しかし、朝から暑い！自動販売機でポカリ・スエットを2本を一気飲み。

国道220から国道224で桜島に入り、県道26で南岳・昭和溶岩を目指す。

途中、[黒神埋没鳥居\(くろかみまいぼつとりい\)](#)[Y1]に寄る、大正3年の大噴火で本殿は火山灰で埋まり、鳥居も上の部分を残して火山灰に埋まっている、噴火のすさまじさを肌で感じる。

埋没鳥居をあとにして、昭和溶岩の見える火山展望台に行き壮大な景色を堪能する。

#### [Y1]黒神埋没鳥居(くろかみまいぼつとりい)

【1914年（大正3年）の大爆発で、完全な島だった桜島と大隅半島が陸続きになり、大爆発の火山灰で鳥居が埋もれてしまった。当時の東桜島村長が、噴火の脅威を後世に伝えようと、掘り起こすのを止めて為、そのままの形で現在に至っている】



(埋没鳥居)

ここで会った数人のライダーと少し話して時間を過ぎて、県道26から国道224出て桜島一周を考えていたが、昨夜の大雨で道路状況が悪いので諦めて来た道に戻る。

国道224で、桜島展望所（有村溶岩展望所）を目指す、国道224は道路の両端が溶岩の山が延々に続く迫力のある道だ！

桜島展望所（有森溶岩展望所）は遊歩道があり至る所に避難壕が設置されて、今も火山活動しているの緊迫感を感じる身近に噴煙を上げる、桜島を見ることが出来た。

桜島をあとにして、国道224を戻り国道220で串本市から国道448で都井岬を目指す。

都井岬に着いたのがPM12:40。



(都井岬)

駐車場に着くと野生馬（御崎馬みさきうま）[Y2] が近づいて来て人に慣れている、意外と小さい競馬で使われているサラブ・レットを想像していた。

[Y1]御崎馬(みさきうま)

【御崎(みさき)馬(うま)・日本在来馬で2000年前に中国から導入されて江戸時代に軍用場として放された】

都井岬をあとにして、県道36から国道448に出るまで、至る所から野生馬が自動車に近づいて来るので徐行運転！お決まりの渋滞が発生！



(道路を横断する岬馬)

奈良に行った時は、鹿が道路を横断したり、住宅街を徘徊していたのには驚いたが、ここは自然の中だから、ごく自然で何の違和感も無い。

すり抜けも出来ないので、自動車が少なく成るのを待っている間、休憩所の売店でアイス・コーヒー（¥300）を飲んで休憩。

渋滞も解消して、国道448から国道220で日南市を目指す、日南海岸を走っていると前を走るオートバイが現われる。

昨日のDT250だ！

DT250は、俺に気付いて路肩に停まるつもりでスピードを落とし、左にウインカーを出したが俺は無視して追い抜く！あの男には関わりたくない！

国道448での眺めは素晴らしい水平線が何処までも続いている、所々に大きなフェニックスが植えてある。

オートバイを停めて休憩しばらく景色を眺めていると地元のCBX・400が来て少し話をする。

休憩を終えて、再び国道448を走り国道220で、宮崎市を目指して走り出す。

青島の子供の国の前を通るが人で混雑、渋滞も半端では無い渋滞を抜けるのにかなり、時間をロスしてしまった。

青島を抜けると道は、空いて国道220は道幅は4車線で広く中央分離帯にはフェニックスが植えてある。

有料道路かと思うほどで、道を間違えたと思ってオートバイを停めて地図を確認してしまう。



(大きなフェニックス)

宮崎市に入ると街の交通は激しく、久しぶりの交通ラッシュに戸惑ってしまう、渋滞で停まるたびに路面の照り返しとオートバイのエンジンの熱気で暑さは2倍！ヘルメットの中は、汗まみれで汗が滴り落ちる暑い・・・。

PM4:08、道を迷わずに平和台公園に着いた、CBX・400は8,000kmに成っていた。

明日、泊まるのユース・ホテルに予約をし木陰でタバコに火を付け、ジュースを飲んで休憩。



(平和台公園)



(はにわ園)

平和台公園（無料）を大きな埴輪と塔があだけで、興味が無いので手短に見て今夜の宿、婦人会館ユース・ホテルに向かう。

PM5:05、[婦人会館ユース・ホテル](#)に到着。



8月15日（日） 晴れ

AM7:40、婦人会館ユース・ホテルを出発したのだが、洗濯物を忘れてしまったので取りに戻る。

昨夜、通行止めの道が新聞に掲載されて、予定していたルートを変更しながら今日の目的地の阿蘇山に向かう為、国道10で日向市に向かう。

日曜日の朝は、何処も同じで自動車が少なく走りやすい、海岸線を走るのは気持ちがいい！

国道10で延岡市まで海岸線を走り、佐伯市から国道57（豊後街道）で内陸部に入り阿蘇山に向かう、延岡市から国道218を通過して高千穂峡と阿蘇山に向かう予定だったが、先日の大雨で山間の道路が通行止め。

延岡市を過ぎてからの国道10は信号が無く、適当なコーナーがあつて信州の道に似ている、でも地元の自動車は土地柄のせいか道が空いていてもスピードを出さずに安全運転だ！

国道10から国道502に入り、竹田市から国道57で阿蘇市を目指す、当たり前の事かも知れないが、阿蘇市に着いた時に感じたのだが巨大な岩壁がそびえ立つカルデラなのだ。

阿蘇市に入り、根子岳を右手に見ながら国道265で高森町まで行き、国道325で高千穂峡[Y1]に向かう。

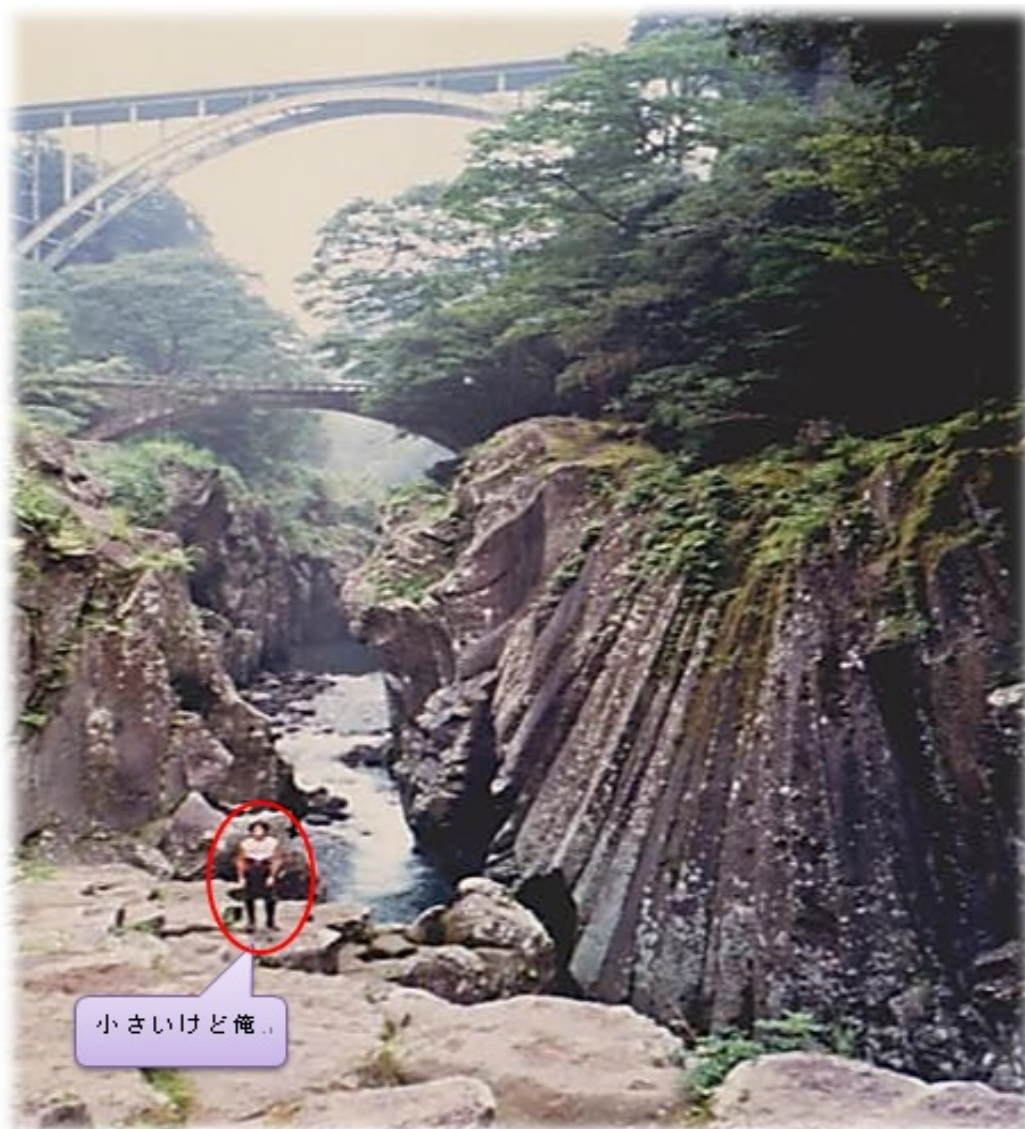
#### [Y1]高千穂峡

【約12万年前と約9万年前の2回の阿蘇火山活動の際、噴出した溶岩流（火砕流）が固まり、柱状節理(ちゅうじょうせつり)（岩体が柱状になった節理、六角形・五角形・四角形の物もある）を五ヶ瀬川(ごかせがわ)が浸食した浸食谷（V字形）】

PM11:35、高千穂峡に着く。

観光PRで、お馴染みの場所の橋から峡谷を見下ろす、当たり前だが実際に見ると写真と同じ！2回の阿蘇山の噴火の溶岩が作り出した、素晴らしい風景、国立公園で名所のせいか観光客の数が凄い。





(高千穂)

高千穂峡をあとにして、国道218から県道7で天岩戸神社(あまいわとじんじゃ)[\[Y2\]](#)と天安河原に向かう。

天岩戸神社は東西に2つ神社があり、東宮【天照大神(あまてらすおおのかみ)】、西宮【天岩屋】、俺が行きたいのは西宮【天岩屋】の方だから東宮は通り過ぎて西宮に直行する。



(天岩戸神社西本宮)



(天安河原)

### [Y1]天岩戸神社

【天岩戸神社は東本宮(ひがしほんぐう)氏社・西本宮(にしほんごう)天磐戸神社(あまいわとじんじゃ)があり、東本宮は天照皇大神(あまてらすすめおおみかみ)、西本宮は大日靈尊天照大神(おおひるめのみこと)を主祭神として天岩戸(洞窟・仰慕窟(ぎょうぼいわや)を御神体として祀る】

駐車場に着き、神社を拝観してから天安河原に行き天安河原までは歩道を岩戸川に沿って、10分くらい溪谷を行くと岸壁の中腹に洞窟があつて、暗い洞窟の中には鳥居があり、ケルン状に積まれた石が並び独特の雰囲気がある。

天岩戸神社をあとにして、国道218で弊立(へいたて)神社に向かう。

弊立神社[Y3]の場所はすぐに分り参拝、この神社には、五色人のお面[Y4]とモーゼの水の玉[Y5]がある。

### [Y1]弊立神社 (へいていじんじゃ)

【樹齢1万5千年と伝えられている檜の巨樹がそびえて、5年毎に一度の五色神祭が8月23日に行われ、この祭典は太古から行われて世界でも唯一の祭典】

【世界の人類を五色に大別し、その代表の神々が根源の神の広間に集まって地球の安泰と人類の幸福・繁栄、世界の平和を祈る儀式で、五色人の参列の位置も決まってい、中央に五色人の王と黄人の代表、北に黒人の代表、東に青人の代表、西に白人の代表、南に赤人の代表】

### [Y1]五色人(いろひと)のお面

【世界の人種の肌の色を表したもので、五種類の木で造られてたお面で黄色、赤色、白色、青色

、黒色、とある】

【由緒ある古い神社で、祭りの時に用いられる五色旗、宮中における天皇即位の儀にも、中央が黄色で左右に赤、青、白、紫（黒）の配色による幕が用いられている。】

【鯉のぼりの五色や五色の吹き流しが、五色人にちなんで残されている】

【吉相(きっそう)の土地と呼ばれる四神相応(しじんそうおう)（天の四方の方角を司る四神、四神の中央に黄龍(おうりゅう)または麒麟(きりん)を加えて五神）の地という形で伝わり、北には玄武(げんぶ)黒色・東には青龍(せいりゅう)青色、西には白虎(びゃっこ)白色、南には朱雀(しゅじゃく)赤色、中央（黄色）が吉相の土地】

## [Y2]モーゼの水の玉

【古代ユダヤの秘宝の水の玉は長さ7cm、直径3cmの小さな一粒の水滴を内包した、ひょうたん型の透明な鋼玉石(こうぎょくせき)ダイヤの次に硬い鉱石】



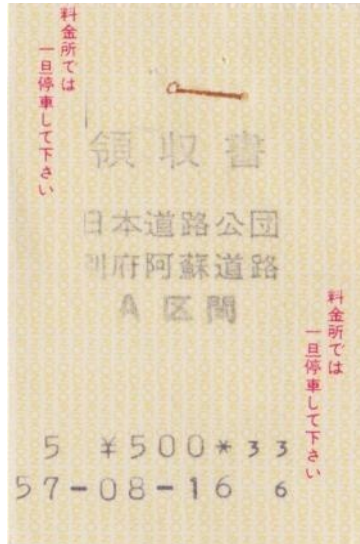
(幣立神社)



(五色人のお面)

幣立神社をあとにして来た道に戻り、国道265で阿蘇山に向かう。

PM1:40、阿蘇登山道道路(¥500)を通り、草千里まで行くが渋滞の影響で着くのに1時間掛かった。



(有料道路の領収書)

道路の状態はかなり悪い、アスファルトはヒビ割れて所々、舗装が剥離(はくり)し穴が開いている火口まで、まだまだ距離がある。

先頭の観光バス数台が火口の駐車場まで着くのを待たないと渋滞は解消しない急いでも仕方が無い、ここ草千里で自動車が減るまで休憩！



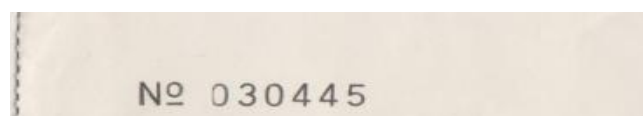
(草千里で休憩)



(米塚・火砕丘が見える駐車場)

休憩している間に、オートバイが何十台の走り去って行く中、放牧されている牛の群れが、のんびり草を食べている。

ようやく、自動車が流れ始めて阿蘇山町立自然公園有料道路 (¥100) を通り火口の駐車場に向かう。





(有料道路の領収書)

火口まで歩いて行き、安全策から身を乗り出して火口を覗きこむが溶岩は見えなかった、活火山！水蒸気を噴出している。



(阿蘇の火口)



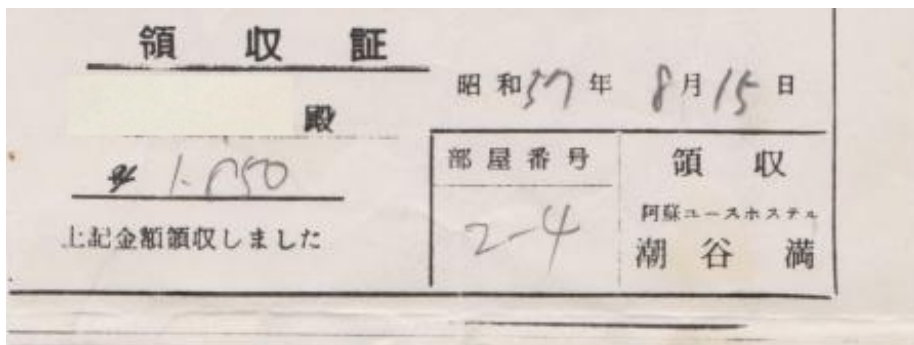
(避難小屋)

観光客で、混雑している売店を物色してお土産を買う。

PM4：10、阿蘇登山道路を戻り今夜の宿、阿蘇ユース・ホテルに向かう。

PM5：15、阿蘇ユース・ホテルに到着。

阿蘇ユース・ホテル (¥1,850) には50人位の泊まり客で混雑している。



(ユース・ホテルの領収書)

オートバイが12台、話の内容から、みんなは九州一周をしている様で、小倉市から来た2人組の人と同部屋になり小倉市の道路状況を教えてもらう。(九州の人は明るくて

、面白い人が多い)

全走行距離 277.8 km・燃費 25 km/l

8月16日(月) 晴れのち曇り

AM6:40、起きる。

ずいぶん日焼けして黒くなり、焼け方がマダラになって見た目に汚い感じがする。

気温は解らないが、この時間としては意外と涼しい、平地に降りれば暑いだろうなあ！

AM7:35、阿蘇ユース・ホテルをあとにして別府市に向かう。

昨日、ユース・ホテルで小倉から来た人に小倉市までの道を教えてもらった通りに走る。

国道57に出て直ぐに、やまなみハイウェイの標識が出て左折し、やまなみハイウェイ(別府阿蘇道路A区間(¥500))を走る、整備された道幅の広く景色のいい！しばらくすると料金所、別府阿蘇道路B区間(¥200)、しばらく走るとまた料金所、別府阿蘇道路C区間(¥300)この道路なら料金をとっても文句は無い、走ってて気持ちのいい！



(有料道路の領収書)

やまなみハイウェイを過ぎて、由布市に入り県道11で別府市に入る。

別府の街は、至る所に水蒸気が上がって街全体が活気がある、さすがに全国的に有名な温泉の街！

別府市を抜けて、国道10で北九州市を目指す、夕方までに小倉砂津港のフェリー・ターミナルに着けば良いのだからゆっくり走る事にした。

国道10で、門司港まで行き和布刈公園の木陰で休憩、フェリーで関門橋の下を通っ

たが、ここから見る橋の全体は大きい！



(和布刈公園)



(和布刈公園から見た関門海峡)

北九州都市高速道路に入ろうとしたが、国道3で標識を見落として道を間違えてしまい諦めて国道199で小倉市に向かう。

PM3:40、フェリー・ターミナルに着く。

乗船手続き(¥7,500)をする為に、ターミナルに入ると天草の松島展望台で話をしたCBの人に再び会い、お互いに九州の感想を時間を忘れて話す。



(フェリーの領収書)

PM5:20、乗船開始、オートバイだけで30台は駐車場に停まっている。

船内は、人で混雑して2等の部屋は家族連れで既に満員で寝る場所の確保が難しい。

人がいないのは、廊下と甲板しかない！今夜は、廊下で寝る事になる、野宿で慣れているからいいかあ。

まずは、支給される毛布が在る内に2枚確保した！

売店で食料とビールを買って早目の夕食を甲板で食べ、甲板にいるのは俺とライダーが2人とカップルが数組のみ、売店でビールを買ってきて旅の無事に終わった事に！

明日は浜松！そして俺の日本一周が終わる、乾杯！



乗客は、フェリーに乗って間もないので気分が高まっていて落ち着きなく、歩き回っている。

PM8:00過ぎに成ると、廊下を歩く人が少なく成って来たので寝場所を確保。俺の隣で毛布無しで、寝ていたライダーに毛布を1枚渡す、お礼にビールをもらう、困っている時は、お互い様！

廊下は人が通るので、なかなか寝る事が出来ない。

全走行距離 248.9 km・燃費 25 km/ℓ

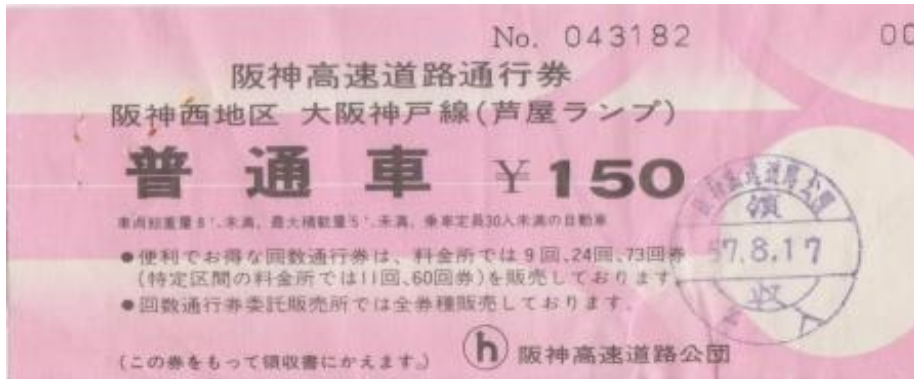
8月17日(火) 晴れのち曇りのち一時雨

AM5:45、起きる。

廊下でも意外とグッスリ寝れた使った毛布を片付けて、トイレが空いている内に・・・。

売店に行ってコーヒーを買い、甲板でコーヒーを飲みながら朝の瀬戸内海を眺め「ボート」する。

AM8:10、東神戸港フェリー・ターミナルに到着、ターミナルをあとにして国道2を走り、[阪神高速道路・芦屋ラップ](#) (¥150) に向かう途中、信号待ちで停まっていると大型トレーラーの兄ちゃんが『今から浜松に帰るのかあ!?!』と話し掛けて俺は『そうだ!』と答えると大型トレーナーの兄ちゃんは関心していた。



(有料道路の領収書)

AM8:50、名神高速道路に入ると直ぐに渋滞。

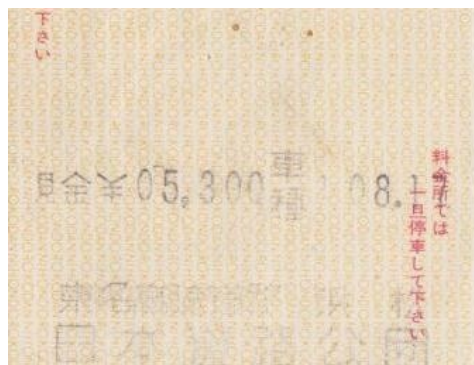
AM9:50、吹田サービス・エリアで朝食を食べる。

AM11:40、養老サービス・エリアで給油と休憩。

PM12:10、出発、浜松まであと180km。

PM1:40、最後の休憩、暑い!水道の水で頭を冷やす。

PM3:15、[浜松I・C](#)に到着、なんだか、疲れが出て来た。





(有料道路の領収書)

PM 3 : 5 0、Blue in Greenに寄りコーヒーを飲んで一休み。

PM 5 : 4 0、家に着く。

全走行距離 3 3 5 . 8 k m ・ 燃費 2 5 k m / ℓ

日本一周 完走

日本一周 完走

全走行距離

全走行距離

16,329.2km

16'359'2km

全日数 47日

全日数 47日

1982年 8月18日 AM00:54 記入